

苫東環境コモンズの
活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

勇払原野のSPIRIT

コモンズの視線

ニュースレター「第18号」をお届けします。当NPOは2010年1月に法人認可を受けましたので、丸6年を経過して7年目に入ったこととなります。何を活動のメインにすべきか試行錯誤もしてきましたが、この年月は重点化すべきことや社会ニーズのありかもある程度明らかにしてくれました。次なる課題はより効果・効率の高い社会的つながりを目指した活動への飛躍ではないでしょうか。その筋の言葉でいえばマーケットイン。やるべきことをやった、というスタンスから、より社会ニーズの方向をつかんでそこにコミットする方法です。望まれるもの、売れるものを創る…。そういう観点に立つと、大島山林の修景と利便改良もハスカップ・サンクチュアリも、創意工夫の余地がまだまだあることに気づき反省もして、とりあえずは限られた活動日数の効率的運用に動き出したところです。

とはいえ、無理は禁物。「年寄、半日仕事」を合言葉に目いっぱい楽しみたいというのも本音です。今年もよろしくお付き合いください。なお、ホームページのアドレスが下記に変更になっています。(事務局：草薙)

新しいホームページのアドレス <http://hayashi-kokoro.com/> 雑木林&庭づくり研究室

TOPIC 1

小田桐師範のチェーンソー講習 10/29 & 30



2016年秋のチェーンソー講習は、会員abeプロの発案により、青森県から小田桐久一郎氏を招き堂々2日間の充実した開催。初日はケアセンターでチェーンソーの仕組みに始まり、手足のように自在に操って樹木と向き合うスペシャルな技術を見せてもらいました。

師範の言葉の中には、師範のたどり着いたキーワードがちりばめられていますが、これも聞く耳を持たない限り届かない。安全に木を伐るとは、カットするのではなく究極のところ、「折る」ことだ、とおっしゃる。ツルを残しながら向こう側に倒すという訳です。

翌日はより実践的に大島山林で参加者も伐倒しながらの講習となり、現場の状況に応じた適切な伐倒方法を選ぶ選択枝の拡大という意味で、非常に有意義な2日間となりました

TOPIC 2 環境コモンズフォーラム@北大



6回目環境コモンズフォーラムは北大百年記念会館で12/5に開催されました。テーマは「人口減少時代の自然空間管理～その担い手と手法

を考える～」。北大公共政策大学院、環境コモンズ研究会、そして当NPOの共催。行政、コンサル、NPOと研究者など、多彩な顔ぶれの70人ほどが参集しました。公共と民間とでは土地の扱いは違うものの、一般市民ももっと深くかかわるのは同じです。その最適なルールを求めて重層的に自然空間を管理し利活用する。地味ですが大事なテーマで、まだまだ議論と実践の余地があります。基調講演は北大中村太士教授(当NPOの薪会員)で「グリーンインフラ」というこれからの新しいテーマが提案されました。

TOPIC 3

土ソリで間伐材の運搬効率アップできるか？



間伐した材をいかに効率よく搬出するかは最重要の課題でしたが、会員の斉藤泉氏が秋の総会でのやり取りを聞いて「バチバチ」か「土ソリ」の制作しようと申し出てくれ、年末の山の神の日に完成式、1月28日に試運転となりました。

ただ、写真のように首尾よく積むところまでは良かったのですが、折からの新雪にソリは埋まってしまい、結局、雪が固まるまでは林道以外では使えないことが判明。当面は鉄ソリ一本で進めることになりました。

TOPIC 4

白老・前田さんから浄財のご寄付

NPO会員を通じて、白老の前田育子さんから森づくりに対するご寄付をいただくことになり、現地で当NPO・oyama 理事への簡単な授与式が行われました。

前田さんはプロの陶芸家として活躍されるかたわら、廃船などで使われなくなった大漁旗を再利用してバッ



グや服(アロハシャツ)などの日曜グッズにして販売、その売り上げの一部を旗提供の自治体の森づくり活動グループに還元してきました。この日は、搬出作業の開始日で前田さんもほぼ一日、作業を手伝ってくれ、苫東コモンズの森づくりを堪能されました。

TOPIC 5

予想外の大雪で作業テントつぶれる？！



昨シーズンは雪が少なく、スノーモービルで材を搬出する林道の雪が消え始めたために2月の中旬ころから、「除雪」ならぬ「加雪」をしました。今年は一転、年末と1月にたびたび大雪となり、農業用ハウスのフレームを使用した仮設テントは雪の重みでフレームがさがり、当初はなかった支柱が一つ二つと増え始めて1月末ではついに5本。降雪が続く週は、週の半ばにテントの雪下ろしに出かけねばならない状態に。

設営リーダーの右田さんは「春になったら補強しないと」といっており、今後は倒壊の心配はないようにややがっしりした設計が望まれます。



ちなみに2013年12月に購入したスノーモービルが1月28日に通算走行距離600kmになりました。現在の

周回コースは約2kmで、最大で一日20往復、平均10往復ですので、実に少ない稼働日数で運んでいることになります。これももとはといえば、そもそも走行可能日数が少ないことに起因します。1月中旬までのフワフワの新雪ではモノをけん引できず、3月に入ると林や林道に雪がなくなるという、この地方ならではの「寡雪・小雪」という条件があるためです。

28年9月からの活動報告

各行事末尾の数字は参加者数

- 9/17 sat キノコの採集と勉強会@大島山林 9時半集合、11時から判別 薪小屋前にて 25
- 9/24 sat ケアセンターの里山景観作業&13:30 理事会、総会案内発送準備 6
- 10/1 sat テラス防腐剤塗り、フットパス枝拾い、キノコ観察、育林コンペ 6
- 10/8 sat チェンソー講習会の現地準備&育林コンペ作業 5
- 10/15 sat 大島山林のテントへ資機材搬入、育林コンペ 6
- 10/22 sat 第7回総会@小屋 8
- 10/29 sat 小田桐師範のチェンソースキルアップ講習@ケアセンター12 ~10/30 sun @大島山林 11
- 11/5 sat 講習会の跡片付け 3
- 11/12 sat 講習会の跡片付け+育林コンペ 土ソリ制作(斉藤さん) 8
- 11/19 sat 育林コンペ 8
- 11/26 sat 育林コンペ③ 7
- 12/03 sat 大島山林①=講習会の片付け 札幌ウッドイーイズ来林 11
- 12/05 mon 環境コモンズフォーラムVI@北大
- 12/10 sat 山の神参拝 9
- 12/17 sat 大島山林② 5
- 12/24 sat 大島山林③ 7
- 12/29 thu 大島山林④ 1
- 01/07 sat 大島山林⑤ 6
- 01/14 sat " ⑥ 7
- 01/21 sat 大島山林⑦ 6
- 01/28 sat " ⑧ 7 寄付の授与式

////////// 編集後記 //////////

■10月の総会のあとは例年チェンソーを使った間伐・伐木モードに切り替わりますが、今期は特に専念して伐採に関わっている感覚があります。育林コンペも今年は秋に中間コンペをしておきたいので、その工夫も始まるでしょう。総花的でなく、徹底して集中して打ち込む。そこに喜びが見えてきます。

■年末のフォーラムでは陣内さんが、旭川で町内の賛同を得た森づくりコミュニティみたいな事例を紹介しました。苫東コモンズの主旨と底通し、森林コモンズの理想パターン。土地所有感覚が薄い北海道でもっと汎用化したい取り組みです。来年あたり、視察したいところ。今年はまず小樽の高川山林へ。森の幼稚園を飄々と実践されています。楽しみ。(草苺)

お問い合わせ

NPO 法人苫東環境コモンズ 事務局

草苺 kt-884-556@nifty.com

携帯 090-6999-2765